

13-03-29

2013 年度 設備投資計画

～鉄道事業を中心に総額 11,376 百万円～

<主な投資項目>

- ① 瀬戸線専用通勤型車両 4000 系・計 16 両の新造
- ② 旅客安全・運転保安工事の推進

名古屋鉄道では、「名鉄グループ中期経営計画 ～PLAN120～」(2012 年度～2014 年度)に基づき、同計画の重点テーマである「グループの核である交通事業の強化」などの実現に向け、2013 年度の設備投資計画をまとめました。

来年度の主な投資として、瀬戸線の車両更新を引き続き進めるため、同線専用の通勤型車両 4000 系車両を 16 両(4 両組成×4 編成)新造します。

また、例年に引き続き、ATS(自動列車停止装置)などの安全設備の新設や更新、車両・土木・電気施設の改良、高架化の推進など、安全対策の更なる充実を図る投資を積極的に推進していきます。

来年度の設備投資額は、鉄道事業において車両更新や旅客安全・運転保安に関わる投資を積極的に推進するものの、開発事業における「名古屋クロスコートタワー」や「鉄道センタービル」などの大型投資事業が一巡した影響により、全体では今年度比マイナス 17%程度の 11,376 百万円となります。

事業別設備投資計画額の対前年比較は以下のとおりです。

<事業別設備投資計画額内訳>

(金額単位 百万円、税抜き、単位未満切捨て)

事業	2013 年度	2012 年度	前年との差額	増減率	(参考)2011 年度
鉄道事業	9,000	9,499	▲499	▲5.2%	8,994
開発事業	1,766	4,008	▲2,242	▲55.9%	3,935
その他	609	330	279	84.5%	334
総額	11,376	13,838	▲2,462	▲17.7%	13,265

鉄道事業 [9, 000 百万円]

鉄道事業では、①通勤型車両(計16両)の新造に2,074百万円、②駅改良など、サービス改善工事に803百万円、③鉄道高架化の推進、踏切保安設備や土木・電気設備の改良など旅客安全・運転保安工事に6,122百万円の計9,000百万円を投資します。

1 車両の新造(2,074百万円)

- 瀬戸線の車両更新を進めるため、同線専用の通勤型車両4000系を16両(4両組成×4編成)新造します。これにより、瀬戸線を走るすべての車両が4000系に置き換わり、旅客サービスの向上や省エネルギー化に寄与します。



4000系

2 サービス改善工事(803百万円)

(1) 主な駅改良工事

津島線・勝幡駅周辺整備

- 愛西市が計画する勝幡駅(愛西市勝幡町五俵入2266番地4)周辺整備(駅前広場設置)に合わせて、下り線の駅舎を新設します。また、上り線の既設駅舎の建て替え等を行うことにより、バリアフリー化されます。

犬山線・扶桑駅改良工事

- 扶桑駅(丹羽郡扶桑町大字高雄字下山91番地)にエレベーター4基や多目的トイレを設置し、バリアフリー化を行います。(2014年度竣工予定)

そのほか名古屋本線・富士松駅(刈谷市今川町一丁目805番地)の下り線の駅舎新設などを行います。

(2) 自動改札機のICカード対応化

- お客さまの利便性向上のため、新安城駅、知立駅、堀田駅、日進駅、中部国際空港駅、金山駅、名鉄名古屋駅、名鉄岐阜駅、大森・金城学院前駅のICカード非対応の自動改札機(15台)で、manaca等ICカードをご利用いただけるよう改良します。

(3) 旅客案内設備更新

- 名鉄一宮駅のLED表示器、放送装置などの更新を行います。

3 旅客安全・運転保安工事(6,122百万円)

(1) 安全・保安対策

- 踏切対策用のATS(自動列車停止装置)を津島線・各務原線・小牧線などの34駅に設置します。また、ホーム転落対策として、列車の乗務員に異常を知らせる列車非常通報装置を豊橋駅、西枇杷島駅、水野駅に設置します。

(2) 列車在線表示システムの導入

- GPSシステムを利用して、列車の在線位置・列車番号・組成車両番号・両数等を運転指令室及び主要駅で可視化する列車在線表示システムを2013年度から順次導入をします。

これは、列車の車載機からの情報を取得し、指令操作端末、在線表示モニタなどで走行位置を閲覧することができるもので、本システムの導入により、ダイヤ混乱時の列車情報収集や列車順序変更作業の効率化などが可能となります。



(3) 耐震補強の推進

- 大規模地震による被害を最小限に抑えるため、高架橋柱などの耐震補強を一宮高架橋及び津島高架橋で行います。

(4) 踏切道保安設備の新設・改良

- 踏切道の保安対策として、踏切障害物検知装置の設置(1カ所)、踏切道の非常ボタン(22カ所)の設置及び踏切遮断機(47台)の更新などを行います。

(5) 車両の改良

- 100系2編成の制御装置をVVVF化し回生ブレーキを導入することで消費電力を削減するほか、ATC(自動列車制御装置)を更新して保安度の向上を図ります。
- 運転士が運転操作不能になった場合に列車を自動的に停止させる運転士異常時列車停止装置を36両に設置します。
- 運転状況を記録する運転状況記録装置を36両に設置します。
- ホームから車両連結部への転落防止を図るため、固定連結部の車体側面に連結面転落防止幌を29連結面に設置します。

(6) 土木施設の改良

- 列車の乗り心地を向上するため、まくらぎのPC化(瀬戸線・西尾線・常滑線の延べ約3.3km)及び分岐器の弾性化(計6基:美合3基、国府宮2基、柏森1基)を実施します。
- 列車走行音や振動を軽減するため、ロングレール化工事を名古屋本線 左京山駅～有松駅間の延べ約1.0kmで実施します。

(7) 電気施設の改良

- 異常時対応力の強化を目的として、電力管理システムを更新します。(2015年度竣工予定)
- 安定した電力供給を図るため、沿線各所で高圧遮断器など電力設備の更新、き電線の増強・改良などを実施します。

(8) 高架化

- 安全対策の推進と都市計画事業の一環として、4カ所で高架化工事を実施します。

	路線名	区間	距離
知立駅付近 高架化工事	名古屋本線	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km
	三河線	重原駅～三河八橋駅間	2.7km
喜多山駅付近 高架化工事	瀬戸線	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km
青山駅付近 高架化工事	河和線	成岩駅～上ゲ駅間	1.3km
布袋駅付近 高架化工事	犬山線	石仏駅～江南駅間	1.4km

なお、2013年度中には、青山駅付近の下り本線の高架化切替及び布袋駅付近の上り線の仮線切替を予定しています。これにより、青山駅付近は上下線とも高架化されることとなります。

開発事業 [1,766百万円]

- 昨年「名古屋クロスコートタワー」や「鉄道センタービル」などの物件が竣工を迎え大型投資事業は一巡しましたが、既存賃貸物件(沿線の商業施設、テナントビルなど)の改修や設備更新を引き続き進めます。

その他 [609百万円]

- 名鉄ホームページの更新や業務システムの改修を進めるなど、IT環境の改善を図ります。
- 太田川駅周辺高架下に資材倉庫を新設します。

※ 名古屋鉄道を含む2013年度の名鉄グループ設備投資計画額は、32,844百万円。
(2012年度同計画額 31,503百万円 前年との差額 1,341百万円 増減率 4.2%)

以 上